

平成27年5月20日

日本労働組合総連合会島根県連合会 会長 仲田 敏幸 殿

「夏の生活スタイル変革（通称：ゆう活）」に関する要請書

近年、労働力人口が減少していく中で、女性や高齢者が働きやすく、また、意欲と能力のある者が活躍しやすい職場環境を作ることで、労働生産性を上げて成長を持続させることが重要な課題となっております。

しかしながら、我が国においては、長時間労働により国民が豊かさを実感できていない現状にあるなか、島根県においても、総実労働時間が全国平均より長く、長時間労働の削減など働き方の見直しが求められています。

こうした中、明るい時間が長い夏の間は、朝早くから働き始め、夕方には家族などと過ごせるよう、夏の生活スタイルを変革する新たな国民運動を展開することについて、政府から指示がなされました。具体的には、夏の時期に、「朝型勤務」や「フレックスタイム制」を推進し、夕方早くに職場を出るという生活スタイルに変えていくよう、国民運動として国全体に浸透させるものです。

国家公務員については、率先して朝型勤務を推進するとともに、早期退庁目標を設定するなど、働き方を含めた生活スタイルの変革を図ることとしています。

つきましては、各企業においても、夏の期間において、働く人が朝早く出勤し、夕方には家族などと過ごせるよう生活スタイルを変革するために、「朝型勤務」や「フレックスタイム制」を活用するなど、それぞれの企業及び働く人の実情に応じた労使の自主的な取組を可能な範囲で行うことが望まれます。

貴会におかれましても、この取組の趣旨を御理解いただき、傘下団体等に対します周知啓発に向けた御協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。



島根労働局長

古田宏昌

